

秋 田 市 教 育 委 員 会
令 和 6 年 1 2 月 定 例 会
(事前配布資料)

【資料目次】

協議事項

- | | |
|------------------------------|-----|
| (1) 令和6年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について | … 1 |
|------------------------------|-----|

令和6年度秋田市教育委員会学校訪問日程【実績報告】

No.	期日	班	訪問校			教育委員					教育次長		随行		
			給食	午前 10:10～12:15	午後 13:30～15:35	佐藤 教育長	中野 委員	千葉 委員	石田 委員	加藤 委員	柳田 次長	長谷山 次長	鈴木 課長	須藤 室長	佐藤 補佐
1	7月3日 (水)	A	○	下浜小	勝平中	○	○		○				○		
		B	○	明德小	御野場中			○		○		○			
2	7月9日 (火)	A	○	岩見三内小・中	保戸野小	—	○	○							○
		B	○	港北小	山王中				○	○	○			○	
3	8月28日 (水)	A	○	雄和小・中	御所野学院高校			○		○		○			○
		B	○	四ツ小屋小	仁井田小	○	○		○					○	
4	10月9日 (水)	A	○	土崎中	教育施設訪問 千秋美術館	○		○		○				○	
		B	○	河辺小			○		○		○		○		
5	10月16日 (水)	A	○	飯島南小	土崎南小		○	○				○			○
		B	○	秋田北中	飯島小	○			○	○				○	
6	11月13日 (水)	A	○	秋田東中	牛島小	—	○		—			○			○
		B	○	桜小	将軍野中	—		○	—	○				○	
7	11月19日 (火)	A	○	浜田小	川尻小		○	○	—		○			○	
		B	○	中通小	築山小	○			—	○			○		
8	11月27日 (水)	A	○	桜中	外旭川小		○			○			○		
		B	○	勝平小	旭北小	○		○	○					○	

訪問校の「学校経営の重点」〔校長の経営説明から〕

【訪問校30校中】

項目		学校数	前年比	
1	確かな学力、学習習慣、基礎基本の定着	27 校	↓	2
2	豊かな心の育成	24 校	↓	3
3	地域・家庭との連携、開かれた学校づくり	22 校	－	0
4	関わりを重視した教育活動の推進、望ましい人間関係構築、学級づくり	20 校	↑	1
5	児童生徒理解、自己存在感・有用感の構築	18 校	↑	2
6	ICT教育	18 校	↑	2
7	健康・体力の増進、安全教育	18 校	↓	2
8	生徒指導の充実、規範意識の醸成	17 校	↑	1
9	キャリア教育の充実、進路指導	14 校	↓	2
10	教職員の授業力の向上、授業改善	10 校	↓	3
11	児童・生徒の自主的活動	10 校	－	0
12	学校間連携(幼保・小・中・高・大)	9 校	－	0
13	教育相談の充実、いじめ・不登校への対応、未然防止	8 校	↓	3

懇談における話題【総数238 1校平均約7.9】

項目		回数			前年比	
1	学習指導	①教科の指導方法	12	－ 0	35	↑ 2
		②基本的学習習慣の定着	10	↑ 2		
		③表現力の育成	7	↓ 3		
		④学力向上の工夫	6	↑ 3		
2	ICT機器の活用について				28	↓ 1
3	いじめ・不登校、教育相談について				20	－ 0
4	家庭・地域との連携について				16	↓ 7
5	タブレットの持ち帰りについて				13	－ 0
6	子どもに自信を持たせる、自己有用感				13	↑ 4
7	小中連携について(含:幼保小・中高・高大連携)				12	↑ 5
8	若手教員の育成・サポート				11	↓ 2
9	特色ある教育活動・きらめきプランについて				8	↓ 3
10	多忙化防止、働き方改革				8	↓ 2
11	保健室経営について				8	↑ 5
12	特別支援教育について				7	－ 0
13	部活動・スポ少				6	↓ 4
14	PTA活動について				6	↑ 1
他	○縦割り活動について(5) ○学区、スクールバスについて(5) ○学習環境づくり(掲示等)について(5) ○児童の安心・安全(4) ○小規模校のよさについて(3) ○ネットトラブル・情報モラルについて(3) ○学級づくり、集団づくり(3) ○学校規模・適正配置について(3)				・昨年度に引き続き、ほとんどの訪問校において「ICT活用の推進」に関する話題が取り上げられた。各校ともタブレットや大型モニターを活用した授業を展開しており、学校によっては若手の教員が中心となり、授業への効果的な活用方法を教師間で広めるなど、工夫した取り組みがなされていた。また、今年度から各校においてタブレットの持ち帰りを実施しており、効果的な活用について検証しているところである。 ・「いじめ・不登校、教育相談」に関して、特に不登校の児童生徒の支援について話題となった。小学校では別室登校や保健室登校など、児童が学校に足を運べる体制を取り、徐々に教室に向かえる方策がとられていた。また、中学校においては、校内教育支援センター(全20校設置)を中心に、ICT等を活用しながら生徒の学びを保障する現状が報告された。 ・「子どもに自信を持たせる、自己有用感」についても多くの学校で話題となった。児童生徒が毎日楽しいと思える学校生活を送るためには、自分の居場所があり、自己存在感を感じる事が大切である。各校においては、学校行事や生徒会活動などを通して、子どもたちが達成感を味わい自信をもって生活できる取り組みや支援を行っているとの報告があった。	